

| 対談市町名  | 対談項目  |           | 各市町長の主な発言内容   | 知事の発言内容  |
|--------|---|-----------|---|--|
| 12 紀宝町 | 対談項目1<br>防災対策について<br>(河川の洪水対策・中曽川改修・ダム運用見直し・孤立地区解消) | 1 河川の洪水対策 | <p>現在、激特事業により、国直轄管理区間の河道掘削事業を行っていただいております。本年7月の台風第11号において、治水リスクの低減効果が発揮されたところでございます。国直轄管理区間より上流につきましても河道掘削等を実施していただきますようお願いいたします。</p> <p>また、井田川の改修につきましては、取り組みを行っていただいておりますが、さらなる予算の増額に努めていただき、一日も早く完成していただきますようお願いいたします。</p> <p>他の県管理河川につきましても、河川断面が不足しているのが現状でありますので、堆積土砂撤去などの河道整備を早急に実施していただきますようお願いいたします。</p> <p>採取した土砂を御浜町のほうに入れていただいておりますが、これについても引き続きよろしく申し上げます。</p> | <p>(熊野川)<br/>国による熊野川の激特事業は平成28年度の完了を目指して引き続き実施されており、今年度は約85万m3の河道掘削とJR熊野川橋梁の橋脚補強を実施する予定と聞いています。</p> <p>国直轄管理区間より上流の県管理区間では浅里地区において砂利採取を実施しており、平成26年4月までに5,100m3の採取を行い、平成27年度にも約5,000m3の採取を実施しました。</p> <p>また、三重県では災害対策等緊急事業推進費の採択を受け、平成27年3月から熊野市紀和町和気地内において土砂掘削を行っており、平成28年3月までに約1万m3の掘削を行う予定です。</p> <p>なお、同区間の河道掘削を推進するため、5月下旬には国土交通省に対し、「国への提言・提案」として、直轄管理区間の拡大による一元的な治水対策について要望したほか、7月に開催された紀伊半島知事会議でも、直轄管理区間の拡大等について、三重県、奈良県、和歌山県の共同提言として合意したところであり、今後とも、機会ある毎に要望してまいります。</p>                            |
| 紀宝町    | 対談項目1<br>防災対策について<br>(河川の洪水対策・中曽川改修・ダム運用見直し・孤立地区解消) | 1 河川の洪水対策 |   | <p>(井田川)<br/>平成27年度にJR橋付近の護岸工を整備することで、河口からJRより上流にある宮ノ前橋付近(河口から1.3km)の護岸整備を完了します。全体計画のうち、未整備となっている宮ノ前橋から狼谷団地までの延長0.39kmの区間について、平成28年度から護岸整備に着手できるよう、平成27年度中の用地買収完了を目指します。</p> <p>(他の県管理河川)<br/>紀宝町内の河川には、約6万6千m3(平成26年度末時点)の土砂が堆積しているものと推定しています。</p> <p>平成24年度から平成26年度までに、河川維持管理事業をはじめ他事業により、約1万2千m3の堆積土砂を撤去しました。</p> <p>平成27年度は、紀宝町とともに選定した相野谷川、那智川において約6千m3の堆積土砂を撤去する予定です。</p> <p>残る堆積土砂の撤去についても、紀宝町と協議しながら、優先度の高い箇所から進めていきます。</p> <p>地元や町の協力を得て、これまで処分地の確保ができたところであり感謝しております。引き続き、残土処分地の確保にご協力をお願いします。</p> |

| 対談市町名 | 対談項目  |                   | 各市町長の主な発言内容  | 知事の発言内容   |
|-------|---|-------------------|--|---|
| 紀宝町   | 対談項目1<br>防災対策について<br>(河川の洪水対策・中曽川改修・ダム運用見直し・孤立地区解消) | 2 中曽川改修           | 中曽川につきましては現在、改修工事を進めているところですが、早期完成をお願いします。中曽川河口の鶴殿港内のマイターゲートにつきましても、昨年度修理を行っていただいたところでございます。今後も引き続き維持管理の徹底、新たにスルースゲート等を設置していただく必要があると考えておりますので改修工事と併せて対策を要望いたします。  | マイターゲートについては、昨年度に修繕を完了したところであり、今後とも適切に維持管理していきたいと考えています。  |
| 紀宝町   | 対談項目1<br>防災対策について<br>(河川の洪水対策・中曽川改修・ダム運用見直し・孤立地区解消) | 3 ダム運用見直し         | 今後とも下流域の影響を考慮したダムの操作・運用ができる、治水機能を持ち合わせた「多目的ダムへの機能転換」を図るなど、人命を最優先としたダム運用を行うこと、また、長期間に渡り続いている濁水問題に対する抜本的な軽減措置を講ずること、流域市町の意向が反映されるように十分に配慮することなどを、今後も関係機関に対して強く働きかけていただきますようお願いいたします。   | ダムの運用見直しについては、電源開発が設置した「ダム操作に関する技術検討会」や、国及び関係自治体などで構成する「熊野川の総合的な治水対策協議会」において、検証状況を確認していきたいと考えています。<br>濁水対策に関する国によるマネジメントの継続について、三重県、奈良県、和歌山県の共同提言として合意したところです。    |
| 紀宝町   | 対談項目1<br>防災対策について<br>(河川の洪水対策・中曽川改修・ダム運用見直し・孤立地区解消) | 4 孤立地区解消(熊野川への架橋) | 熊野大橋と、熊野市紀和町和気と新宮市熊野川町を結ぶ三和大橋しかなく、両橋間の距離は20kmもあります。<br>大規模災害が発生し、落橋や道路が寸断された場合には、熊野川沿いの多くの集落が孤立し、緊急輸送路が確保できない状況になることが危惧されております。紀伊半島大水害におきましても、浅里地区をはじめ熊野川沿いの地区につきましては、長期間に渡り一般車両は通行できず、被災家屋や田畑の災害復旧にも時間を要したところであり、その後も大雨等の影響が予想される場合には、地区外避難も余儀なくされたところであります。<br>また、本年4月には、皆様のご尽力により県道小船紀宝線が全線開通となりましたが、7月の長雨により、側面が崩落して浅里地区から熊野市紀和町和気地区までが通行止めとなり、その後襲来した台風第11号においては、北檜杖地区から浅里地区間において県道が冠水したため、浅里地区・瀬原地区が、再度完全に孤立する状況に至りました。<br>このような現状をお汲み取りいただきますとともに、地元自治体からも強く要望をいただいているところでありますので、ぜひとも熊野川中流への橋梁の新設につきまして、ご検討を賜りますようお願いいたします。 | (熊野川下流部に架かる橋梁について)<br>毎回ご要望頂いていますが、地形的な制約から事業費が膨大になるため長大橋の整備は困難と考えています。<br>孤立地区をなくすために、水位状況を把握するための量水標の設置や法面点検や道路パトロールを増やすなどの事前対策をしっかりと行うことで安全やいのちを守っていききたいと思います。 |

| 対談市町名 | 対談項目  |                      | 各市町長の主な発言内容   | 知事の発言内容  |
|-------|---|----------------------|---|--|
| 紀宝町   | 対談項目1<br>防災対策について<br>(河川の洪水対策・中曽川改修・ダム運用見直し・孤立地区解消) | 4 孤立地区解消(県道紀宝川瀬線の改修) | <p>県道紀宝川瀬線につきましても、台風第11号の際にも高岡地内が冠水により通行止めを余儀なくされ、高岡地内の一部の地域が孤立状態となり、透析患者の搬送に苦慮したところでもあります。</p> <p>県道紀宝川瀬線の高岡地内において一部改修を行っていただく予定と伺っておりますが、浸水対策として、高岡地内と大里地内の改修を早急に実施していただきますようお願いいたします。</p>  | <p>(県道小船紀宝線について)<br/>県道小船紀宝線は災害復旧の準備を行っており、年度内の復旧をを目指したいと思っております。</p> <p>(県道紀宝川瀬線の改修について)<br/>県道紀宝川瀬線のご要望の区間につきましては、平成24年度に紀宝町や地元の皆様と協議・調整を行った結果、高岡地内の未改良区間を整備することとしました。道路を拡幅することとあわせ、最大約2mの高上げの整備を進めていくこととしています。</p> <p>平成26年度は、用地買収に着手しましたので、平成27年度より一部工事にも着手する予定です。</p> <p>今後とも、用地買収など、紀宝町と連携のもと、地元の皆様のご理解・ご協力を得ながら、事業を進めていきますので、引き続き、ご支援をお願いします。</p> |
| 紀宝町   | 対談項目2<br>新宮紀宝道路の早期完成～広域交通網の整備促進                     |                      | <p>熊野川河口大橋を含む「新宮紀宝道路」の早期完成と、未事業化区間である近畿自動車道紀勢線(紀宝～熊野間)を早期に新規事業化するとともに、一日も早く、紀勢線が全線開通するよう、ミッシングリンクの解消など、広域交通網の整備促進を要望します。</p> <p>また、近畿自動車道紀勢線の整備促進をより推進していくため、県の組織において、県土整備部新名神推進課のような、「紀勢線推進課(仮称)」を配置していただくなど、県の推進体制整備について、ご配慮をいただきますよう要望いたします。</p> | <p>(新宮紀宝道路について)<br/>今年6月には事業着手式(道路中心杭設置式)が行われました。</p> <p>平成27年度は、国において道路設計を進め用地調査に入ると聞いており、県としても早期完成に向け協力してまいります。</p> <p>(未事業化区間の早期事業化について)<br/>総額確保なくして個別道路の話にならないので、総額確保を国交省ができるよう、地方としてしっかり働き掛けていきたいと思っております。</p> <p>ストック効果ですが、町長がおっしゃったような企業の立地やコンビニの進出など地域ならではの様々なストック効果があると思っておりますので、提言していけるよう知恵を頂きたいと思っております。</p>                                 |
| 紀宝町   | 対談項目2<br>新宮紀宝道路の早期完成～広域交通網の整備促進                     |                      |   | <p>(県の推進体制について)<br/>新名神推進課はNEXCOから用地買収の委託を受け、事業推進において県が果たすべき役割がありました。今後県がしっかり果たすべき役割が出てきたときは考えます。現在、近畿自動車道紀勢線については次長・課長以下、最優先事項の1つとしてやっていますので、しっかり頑張っていきたいと思っております。</p>  |

| 対談市町名 | 対談項目                       |                                  | 各市町長の主な発言内容   | 知事の発言内容   |
|-------|----------------------------|----------------------------------|---|---|
| 紀宝町   | 対談項目3<br>特別支援教育の<br>充実について | 1 特別支援学級編成<br>基準の引き下げ            | <p>近年、国内外において、障がいがあってもなくても一人ひとりを大切にする共生社会の形成に向けた取組が進められております。</p> <p>本町におきましても、特別な支援を要する幼児・児童・生徒、保護者と、就学前からの相談等を実施する中で、町立小中学校特別支援学級への進学を希望する児童・生徒が増加しており、については特別支援学級の増設を三重県教育委員会へ要望しているところです。</p> <p>保護者からは、障がい軽度・重複化、多様化する傾向にあることなどから、一人一人の教育的ニーズに応じた教育の一層の充実が求められておりますことから、特別支援教育をさらに推進していくために、特別支援学級編成基準を引き下げいただき、適正な特別支援学級の設置を進めていただきますよう要望いたします。</p>   | <p>(特別支援学校の整備)<br/>紀南地域においては、特別支援学校東紀州くろしお学園の統合整備を、平成28年度内の完成を目指して進めているところです。</p> <p>(特別支援学級等)<br/>校内の特別支援教育コーディネーターを支援する観点から、県単独措置の非常勤講師を配置を紀宝町を含めてやらせていただいておりますので、限られた財源の中、しっかり取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>特別支援学級の増設については、紀宝町に平成27年度に小中学校で特別支援学級を前年度から2学級新增設したところですので、市町教育委員会の要請を踏まえながら、全体の状況を見て考えていきたいと思えます。</p> <p>教育施策大綱では、特別支援教育は1つの大きな柱になっています。子供一人ひとりが違うので適切な教育やケアができるよう配慮しながら、市町教育委員会と協力しながらやっていきたいと思えます。</p> |
| 紀宝町   | 対談項目3<br>特別支援教育の<br>充実について | 2 特別支援教育支援<br>員配置に伴う財政支<br>援性の充実 | <p>また、本町におきましては、現在、幼稚園、小・中学校の特別な支援を必要とする子どもに対して、担任一人で対応するには限界もあることから、担任をサポートする「特別支援教育支援員」を適正配置しております。</p> <p>支援が必要な児童・生徒のすぐそばに行くことができる支援員の存在は特別支援教育の充実を図っていくことにおいて、非常に効果的であり、支援によって児童が落ち着き、学級への適応が進むことによってより学習のしやすい教室環境が生まれております。</p> <p>このため、保護者・児童生徒・教職員から支援員の配置を望む声が多く寄せられておりますが、一方で町単独の財政措置には限界もあり、特別支援教育支援員の配置数が不足しておりますことから、特別支援教育支援員配置に伴う財政支援制度の充実を要望いたします。</p> <p>また、きめ細やかな個々の教育をしていくうえで、臨床心理士のような資格を持った人を配置してもらえればと思っています。</p> | <p>(特別支援教育支援員)<br/>国においては、平成19年度から「特別支援教育支援員」を配置するため、交付税措置措置が行われることとなりました。</p> <p>特別支援教育支援員に対する財政措置の拡充及び特別支援学級編成基準の引き下げについては、今年の5月に文科省に要望を行ったところです。引き続き要望を実現すべく取り組んでいきたいと思えます。</p> <p>また、中央教育審議会の作業部会で特別支援教育支援員の配置及び財政について議論されていると聞いていますので、その動向を注視していきたいと思えます。</p>  |

| 対談市町名 | 対談項目                       |           | 各市町長の主な発言内容   | 知事の発言内容   |
|-------|----------------------------|-----------|---|---|
| 紀宝町   | 対談項目3<br>特別支援教育の<br>充実について | 3 学力向上の取組 | <p>県教委の指導員派遣事業の支援を受け、紀宝町では放課後学習サポートスクールを実施し、5小学校で113名の児童が登録し、放課後に授業の補習や宿題などに取り組み、個に応じた支援をしているところです。</p> <p>また、夏休みにも、県教委事業の支援を受け、サマースクール事業実施し、自主学習の等を行う場を設定し、183名が登録し、延べ1,173名が参加しました。</p> | <p>(学力向上のための地域の取組)</p> <p>地域の関与が多いほど、全国学力・学習状況調査において成果が上がっているということもありますので、県教委の指導主事を中心に協力・サポートしたいと思います。</p> <p>組織的対応を学校でしっかりやってもらうことが大切です。総合教育会議において分析結果を出したところによると、いわゆる3点セット、ワークシート、みえスタディチェック、全国学力・学習状況調査の活用をしっかりとやっている学校ほど成果が上がり、また、生活習慣チェックシートをしっかりとやっているほど今回改善が見られています。</p> |
| 紀宝町   | その他(サミット)                  |           | <p>サミット関係者が中部国際空港から来て関西国際空港に行かれるのかなど、当地域を通るかの情報を提供していただければと思います。</p>  | <p>食材やお土産品のお願いをしているところでありますので、そういうご提案を頂ければと思います。</p> <p>応援事業として、民間がメインになると思います。サミット記念事業などをしてもらえると機運醸成になっていいと思います。</p> <p>花いっぱい運動、クリーンアップ運動などをしていきたいです。</p> <p>また、市町連携会議を開いて情報共有していきたいです。</p>  |